

平成22年度第3回地域貢献推進委員会議事要旨

○日 時：平成22年11月5日（金） 13:00～14:00

○場 所：本部管理棟4階第1会議室

○議 題：【審議事項】

- ・琉球大学第2期中期目標・計画期間における地域貢献推進計画について
- ・大学の地域貢献活動データベースに係るWGの設置について

【報告事項】

- ・第52回琉大21世紀フォーラム 公開シンポジウムの実施について

○出席者（13名）：井上講四（生涯学習教育研究センター長）、堤純一郎（産学官連携推進機構副機構長）、米盛徳市（教育学部教授）、小賀百樹（理学部准教授）、等々力英美（医学部准教授【代理出席】）、有住康則（工学部教授）、内藤重之（農学部准教授【代理出席】）、長嶺勝（熱帯生物圏研究センター准教授）、舟木慶一（総合情報処理センター講師）、山元淑乃（留学生センター講師）、西本裕輝（大学教育センター准教授）、金城孝夫（附属図書館事務部長）、大濱善秀（学術国際部地域連携推進課長）

○資料： 1. 第2期中期目標・計画期間における地域貢献推進計画（案）
2. 地域貢献活動データベース作成に係るWGの設置について（案）
3. 琉大21世紀フォーラム 公開シンポジウムパンフレット
（追加）第2回琉球大学農学部地域貢献シンポジウム 案内パンフレット
（追加）宝庫からのメッセージ～琉球・沖縄の貴重資料 案内パンフレット

○列席者：幸地秀利（地域連携推進課長代理）、玉城優里（地域連携推進係員）

まず始めに、大濱委員より、山里委員長が諸般の事情により欠席するため、議事進行を井上副委員長に務めていただく旨報告があった。

次に、井上副委員長より前回委員会の議事内容について確認があり、議事に対して意見・訂正等があれば、後ほど事務局へ連絡するよう発言があった。

◆ 審議事項 第2期中期目標・計画期間における地域貢献推進計画（案）について
井上副委員長より、資料1について次のとおり説明および提案があった。

前回の委員会で、本委員会の下にWGを設置して方策案についてたたき台を作成し、その提案を本委員会で審議・決定し全学的に展開するという流れで合意されていた。長嶺私案を基にWGで検討し、地域貢献推進計画（案）を策定した。現時点では多少検討が

必要な箇所もあるが、それも含めて皆さんの意見をいただきたい。また、それぞれの基本方針の補足として、部局から選出されている委員の方に、関係部局等による説明文（数行程度）の執筆をお願いしたい。

審議事項について以下のような意見があった。

- ・基本方針の5つはよくまとめられているが、沖縄独自の地元文化に対する貢献もあるので、「文化」という文言を入れてはどうか。 → 方針5に入れてはどうか。
- ・各説明文は、執筆者によって趣旨・内容等が異なると思われるので、取りまとめ後にWGで書き方の統一等、全体の整合性が取れるよう再度検討してほしい。
- ・たたき台としては、分担してバラバラになるより、偏っていても一貫性のある考え方で整理された方が議論しやすいのではないかと。また、会議資料については事前に下読みしていた方が意見を述べやすいので、開催前に資料を送付してほしい。
- ・前提として、そもそも本学がなぜこのような方針を掲げるのかについてや、大学としての地域貢献の必要性等について、一般の方にもわかるように述べる必要があるのではないかと。
- ・全体のバランスを考慮した際に、総論として方針の前文があった方が良いのではないかと。具体的な細かい説明はⅡやⅢに記載し、各方針の説明は簡潔にした方が良い。

審議の結果、各説明文執筆担当者を下記のとおり決定し、前文（3～5行）については、山里委員長または井上副委員長で担当することとした。それを基にWGで検討を行い、次回の本委員会で再審議をすることです承された。

また、井上副委員長より、12月中旬に年度計画進捗状況の中間報告を行う必要があるため、12月10日までに説明文を執筆し、事務局に原稿をデータで送付するよう依頼があった。

（関係部局による説明文 執筆担当者）

方針1：農学部（諸見里委員） ※委員会欠席のため要確認

方針2：観光産業科学部（平良委員） ※委員会欠席のため要確認

方針3：工学部（有住委員）

方針4：大学教育センター（西本委員）

方針5：法文学部（狩俣委員） ※委員会欠席のため要確認

◆ 審議事項 地域貢献活動データベース作成に係る WG の設置について

井上副委員長より、資料 2 について次のとおり説明および提案があった。

前回会議で、データベースを見やすく、活用しやすくするため、本委員会の下にデータベースに係る WG を設置し、そこで検討してはどうかとの提案があった。堤副委員長を WG 委員長として、どのような形式・手順で全学の地域貢献活動をまとめていくか等について検討し、平成 23 年 1 月頃までに提案していただきたい。

審議事項について以下のような意見があった。

・どのような活動を大学の地域貢献として分類するのが課題だと思われる。本人は地域貢献と思っている活動がそうでない場合もあるし、教員個人で実施している活動が地域貢献活動と評価されている場合もある。その辺りをどのようにカテゴライズしていけば良いのかを検討しなければならない。

審議の結果、データベース作成に係る WG の委員は下記の者とし、地域貢献活動の分類等も含めた提案を WG で検討していくことので了承された。

堤副委員長 (WG 委員長)、米盛委員、小賀委員、舟木委員、大濱委員

◆ 報告事項 第 52 回琉大 21 世紀フォーラム 公開シンポジウムの実施について

井上副委員長より、資料 4 に基づき説明があり、当初は本委員会より山里委員長の登壇を予定していたが、諸般の事情により急遽、社会連携の担当理事である平理事に変更となった旨、報告があった。また、本フォーラムは、本委員会との共催となるので PR および当日の参加について協力依頼があった。

◆ その他

・内藤農学部准教授より、農学部地域貢献委員会の活動として「第 2 回琉球大学農学部地域貢献シンポジウム」を開催する旨報告があり、部局への周知依頼があった。

・また、金城委員より本学図書館の地域貢献活動として「三館合同企画展 宝庫からのメッセージ～琉球・沖縄の貴重資料」の開催案内があった。

以上